

広報に関するアンケート調査結果

広報課

1 調査目的

県では、生活に役立つ身近なお知らせを中心とした県政情報を掲載する広報紙をはじめ、テレビ、ラジオ、インターネットなど、様々な広報媒体を通して県民の皆さんに県政の「今」をお伝えしています。また、県政モニターなどを通して県民の皆さんの意見をお伺いし、県政に反映しています。今後の広報業務の参考とさせていただくため、広報広聴に関する意見や要望をお伺いしました。

2 調査対象など

調査対象: 県政モニター803人(郵送モニター:306人 インターネットモニター:497人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和4年8月9日～8月29日

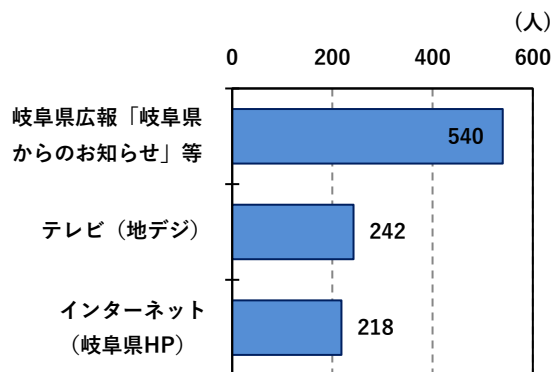
回収結果: 721人(回収率:89.8%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

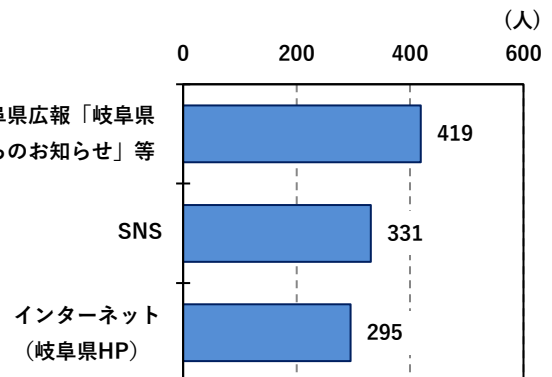
そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

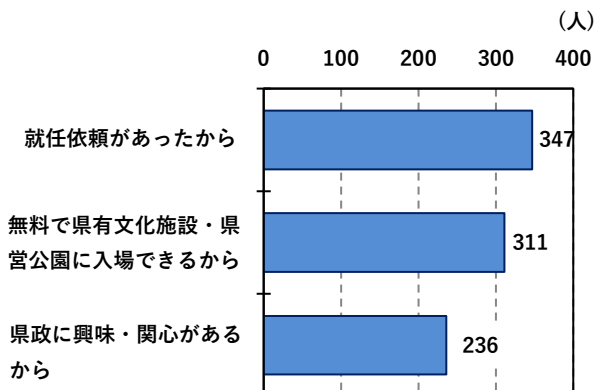
どこから県政情報を入手しているか



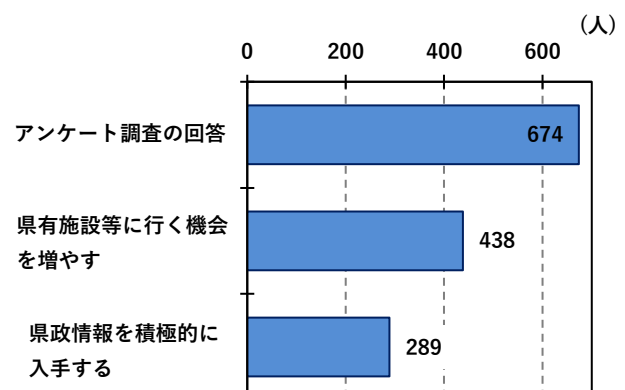
今後、どのような広報に特に力を入れるべきか



県政モニターに応募した理由



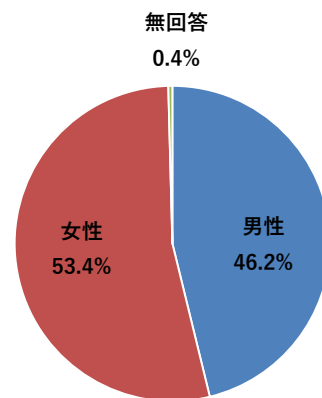
県政モニターとしてどのような活動が可能か



4 回答者属性

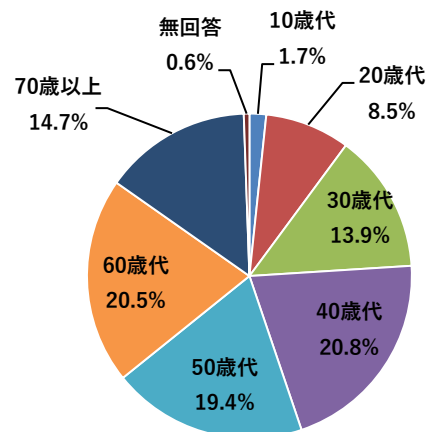
(1) 性別

	人数	割合
男性	333	46.2%
女性	385	53.4%
無回答	3	0.4%
計	721	100.0%



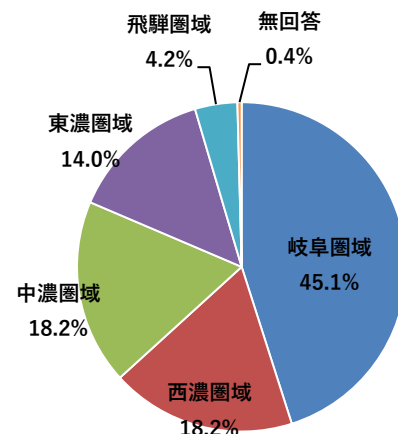
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	12	1.7%
20歳代	61	8.5%
30歳代	100	13.9%
40歳代	150	20.8%
50歳代	140	19.4%
60歳代	148	20.5%
70歳以上	106	14.7%
無回答	4	0.6%
計	721	100.0%



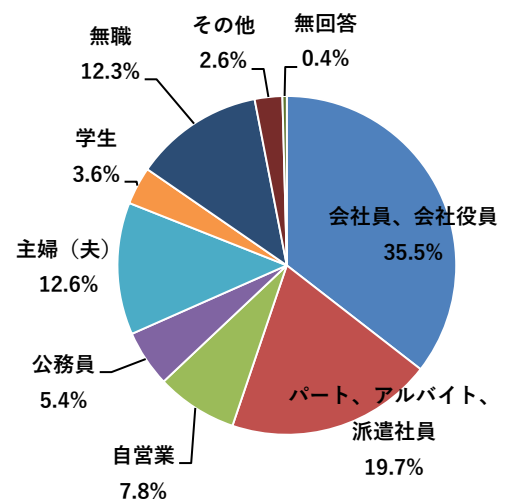
(3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	325	45.1%
西濃圏域	131	18.2%
中濃圏域	131	18.2%
東濃圏域	101	14.0%
飛騨圏域	30	4.2%
無回答	3	0.4%
計	721	100.0%



(4) 職業別

	人数	割合
会社員、会社役員	256	35.5%
パート、アルバイト、派遣社員	142	19.7%
自営業	56	7.8%
公務員	39	5.4%
主婦(夫)	91	12.6%
学生	26	3.6%
無職	89	12.3%
その他	19	2.6%
無回答	3	0.4%
計	721	100.0%



5 調査結果

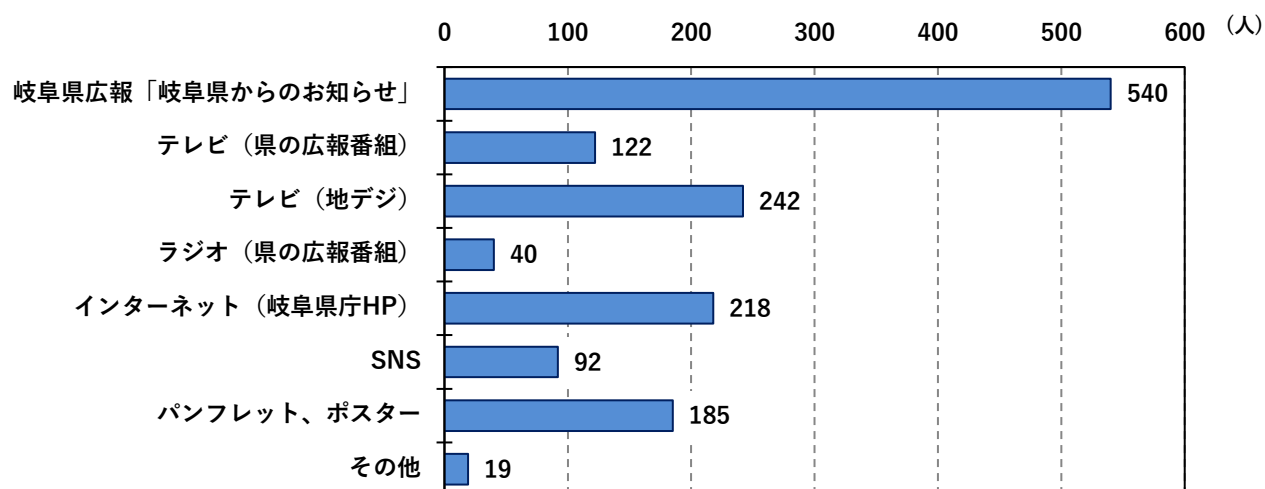
問1 あなたは普段、県政情報をどこから入手していますか。

回答者 721人（複数回答）

	回答数	割合
岐阜県広報「岐阜県からのお知らせ」 (市町村広報紙、地域情報誌(フリーペーパー)、行政情報アプリなど)	540	74.9%
テレビ(県の広報番組)	122	16.9%
テレビ(ぎふチャン(岐阜放送)地デジ・データ放送)	242	33.6%
ラジオ(県の広報番組)	40	5.5%
インターネット(岐阜県庁ホームページ)	218	30.2%
フェイスブック、ツイッターなどのSNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)	92	12.8%
パンフレット、ポスター	185	25.7%
その他	19	2.6%
計	1,458	-

「その他」のうち主なもの

・新聞 ・ネットニュース ・家族 友人 知人からの会話

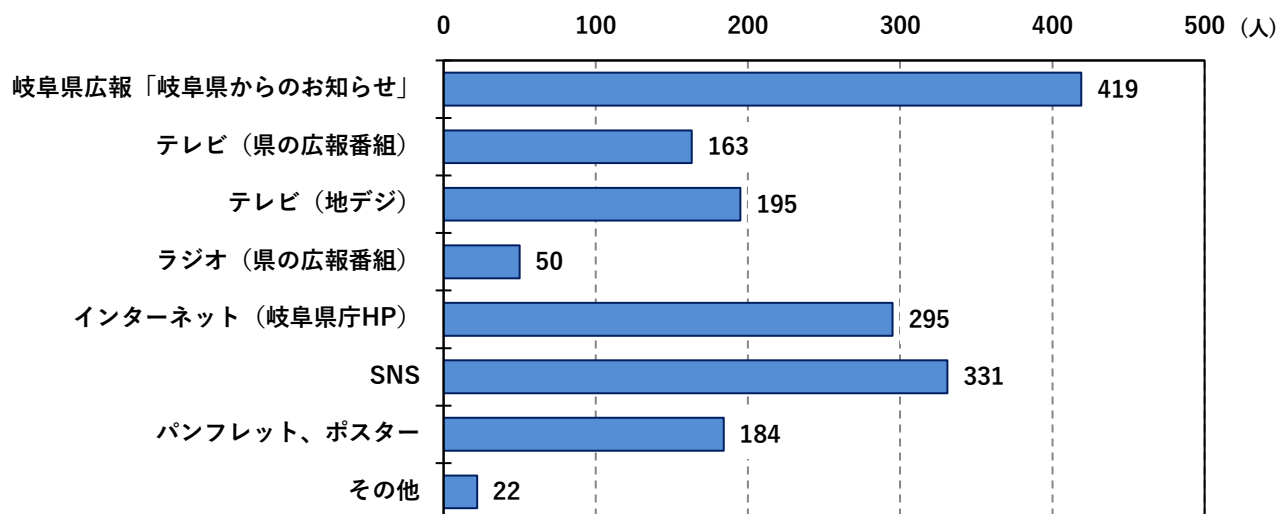


問2 今後、県の広報をより充実させるために、どのような広報に特に力を入れるべきだと思いますか。 回答者 721人（複数回答）

	回答数	割合
岐阜県広報「岐阜県からのお知らせ」 (市町村広報紙、地域情報誌(フリーペーパー)、行政情報アプリなど)	419	58.1%
テレビ(県の広報番組)	163	22.6%
テレビ(ぎふチャン(岐阜放送)地デジ・データ放送)	195	27.0%
ラジオ(県の広報番組)	50	6.9%
インターネット(岐阜県庁ホームページ)	295	40.9%
フェイスブック、ツイッターなどのSNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)	331	45.9%
パンフレット、ポスター	184	25.5%
その他	22	3.1%
計	1,659	-

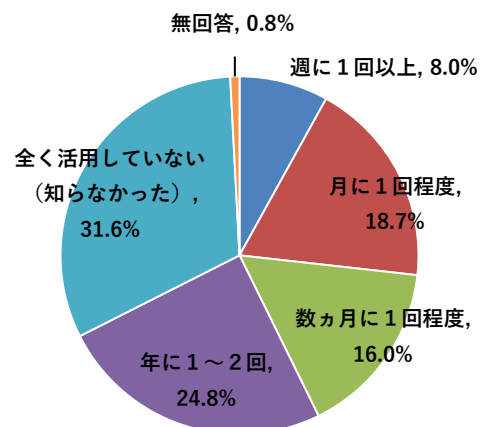
「その他」のうち主なもの（その理由）

・InstagramやTikTok、YouTube(若い人はネットで調べるよりインスタグラムやTikTokを利用して調べます。また、テレビを見る離れが進んでいるためYouTubeを活用すると思います。)



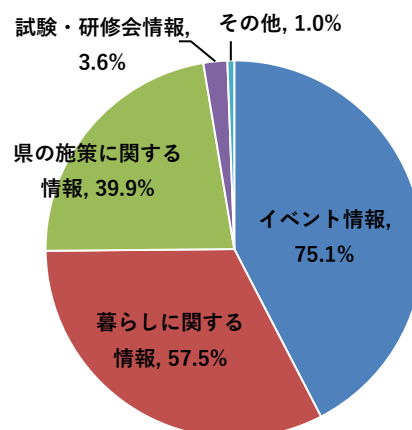
問3 県では、生活に役立つ身近なお知らせ情報を手軽に皆さんが手に取れるよう、テレビのぎふチャン（岐阜放送）の地上デジタル・データ放送で情報発信しています。あなたは、ぎふチャン地デジを活用していますか。

	回答数	割合
頻繁に活用している(週に1回以上)	58	8.0%
ときどき活用している(月に1回程度)	135	18.7%
まれに活用している(数ヵ月に1回程度)	115	16.0%
ほとんど活用していない(年に1~2回)	179	24.8%
全く活用していない(知らなかった)	228	31.6%
無回答	6	0.8%
計	721	100.0%



問4 (問3で「頻繁に活用している」または「ときどき活用している」と答えた方) あなたは、ぎふチャンでどのような県政情報を取得することが多いですか。
回答者 193人(複数回答)

	回答数	割合
イベント情報	145	75.1%
暮らしに関する情報	111	57.5%
県の施策に関する情報	77	39.9%
試験・研修会情報	7	3.6%
その他	2	1.0%
計	342	-



「その他」のうち主なもの

- ・気象状況(情報)やコロナ感染症対策と動向

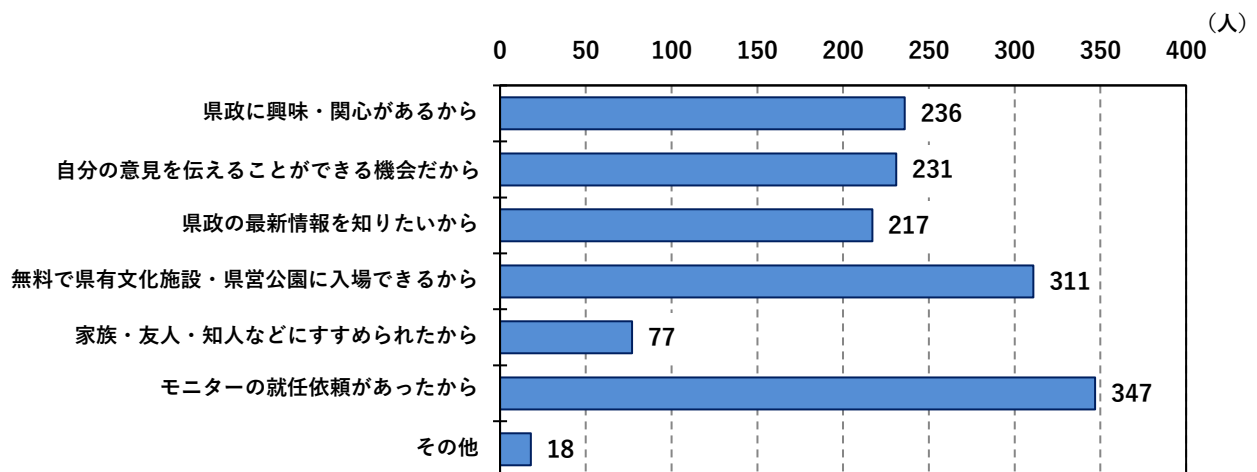
問5 あなたが、県政モニターに応募した理由は何ですか。

回答者 721人（複数回答）

	回答数	割合
県政に興味・関心があるから	236	32.7%
県政に対して自分の意見を伝えることができる機会だから	231	32.0%
県政の最新情報を知りたいから	217	30.1%
無料で県有文化施設・県営公園に入場できるから	311	43.1%
家族・友人・知人などにすすめられたから	77	10.7%
モニターの就任依頼があったから	347	48.1%
その他	18	2.5%
計	1,437	-

「その他」のうち主なもの

- ・岐阜県の事が大好きであり、その県政へ関わりを持てる事にとても魅力を感じたため。
- ・貴重な機会だと思ったら。1人の意見じゃ弱いかもしれないが、何かの役に立てるかもと思ったから。
- ・今まで、あまり興味がなかった。これを機会に、いろいろ知りたいと思った。

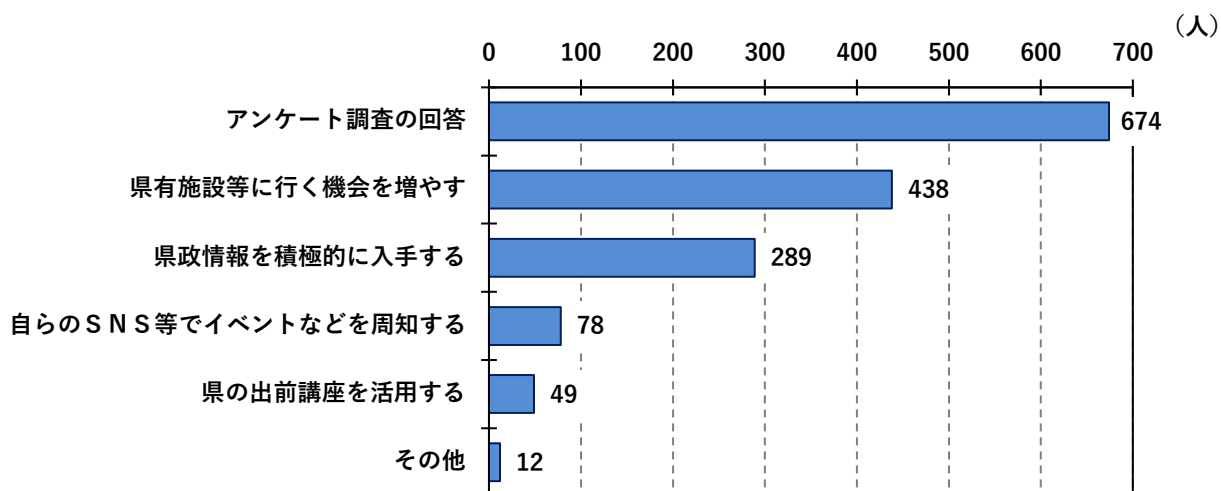


問6 あなたは、県政モニターとしてどのような活動が可能（または現在すでに行っている）だと思いますか。 回答者 721人（複数回答）

	回答数	割合
アンケート調査の回答	674	93.5%
(モニター前と比べて) 県有施設等に行く機会を増やす	438	60.7%
(モニター前と比べて) 県政情報を積極的に入手する	289	40.1%
(モニター前と比べて) 自らのSNS等でイベントなどを周知する	78	10.8%
県の出前講座を活用する	49	6.8%
その他	12	1.7%
計	1,540	-

「その他」のうち主なもの

- ・モニター制度そのものや、知った情報を機会ある度に、自分の関わりのある方に話す。
- ・県の施策について、県民の立場からどうなのか意見を述べるができる。



問7 県政モニター制度や広報広聴事業について、ご意見、ご要望等ありましたら、お聞かせください。(自由記述)

<県政モニター制度について>

○県政に関心を持つことができた

- ・大変良い制度だと思います。なかなか県政についてじっくり考える機会もありませんでしたし、県内の施設にも行く機会がなかったので参加させていただき、いろんな事業について考えてみたいと思います。

○参加してよかった

- ・自分一人の意見ではどう伝えていいのかもわからなかったのですが、こういった機会が頂けたことは有難く思っています。

○意見の反映・活用状況を知りたい

- ・調査の結果をメールや調査結果の報告などのページを送っていただけると、そのほかの人の意見や自分の声が反映されていることが分かると思います。
- ・アンケートを活用した県の過去の実績を知りたいです。

○アンケートに関する意見

- ・事前にアンケートの予告または年間(半期・四半期でもよいので)スケジュールを通知してほしい。

○モニターの特典に関する意見

- ・モニターになっていないと施設に行く機会がまずないのでこの機会を利用して沢山情報を得たい。
- ・行事など岐阜地区が中心でなかなか飛騨地区には来ないことも残念です。
- ・岐阜特産の食べ物とかをプレゼントとかにするともっと多くの人が参加してくれそう。

○その他の意見

- ・もう少しこういった県政モニターがあるということをみんなに知ってもらえたらよいと思います。

<広報・広聴事業について>

- ・広く広報周知を積極的に進めていただきたいと考えます。
- ・現在の状況では多くの人が集まる場所には行けないので、テレビ・ラジオ等の広報の機会を増やしてほしいです。
- ・すべての県民へさまざまな媒体での広報をお願い致します。
- ・SNSを活用して行くべきです。自分は新聞もやめたのでSNS等で発信した方がわかりやすいです。今は新聞なしでもネットニュースで十分なので。
- ・「県職員出前トーク」はとてもいい企画だと思います。是非とも県民に多く知ってもらい、開催の機会が増えることに期待します。